

天然林施業の推進について

岐阜営林署 造林係長 ○立野政信
揖斐担当区主任 檀 研一

1. 目的

ブナを主とする買入地の多い当署においては、今後、天然林施業及び育成天然林施業を積極的に推進していくことが重要な課題となっている。当署の、川上国有林の造林地の中には、有用広葉樹が多く見受けられるのでこれらの調査をすることによって、天然林施業の推進に当たっての汎用性について考えてみることにした。

2. 調査内容

川上国有林は、福井県境に接し、標高500mから1,316m、積雪深は3m以上もある豪湿雪地帯である。過去この国有林においては筋刈地拵、全刈地拵方法により普通植、ポット植、巢植等が実行されている。保育は下刈6回を基準として行われているが、中には、倒木起しと下刈を7回行っている箇所もみられる。このように集約施業が実施されたにもかかわらず、植栽木の生育状況は積雪が多く急傾斜地のため、20年生で樹高4mと悪いうえに、根曲がり、枝が多い等用材としての価値が極めて低いものとなっている。しかし、同造林地に天然更新してきたブナ、ミズナラ、イタヤカエデ等の広葉樹は発生が極めて良好であり、この広葉樹の発生状況が、天1、筋刈地拵、全刈地拵地で異なっているのかを、樹種、本数、樹種の分布、樹高、土壤等について林分調査を行い比較することとした。併せて、同国有林のブナを主とする天然林との比較もすることとした。

3. 調査結果

- (1) 天1箇所にみられる広葉樹は、ブナ、ミズナラ、ミズメ、イタヤカエデ、クロモジ、リョウブ等である。樹高は3m～4m、ha当たり本数は14千本、有用広葉樹のha当たり本数は4千本となっている。
- (2) 全刈地拵箇所については、ブナ、ヤマザクラ、ミズメ、アタヤカエデ、ミズキ、エンジュ、クロモジ等の広葉樹がみられる。樹高は3m～4m、ha当たり本数は3.9千本、有用広葉樹のha当たり本数は2.4千本となっている。
- (3) 筋刈地拵箇所については、ブナ、ミズナラ、ミズメ、イタヤカエデ、クロモジ、リョウブ、

コブシ等の広葉樹がみられる。樹高は3m～4m、ha当たり本数は15.5千本、有用広葉樹のha当たり本数は4.8千本となっている。

- (4) 天然林では、樹冠の上層を占めるブナ、ミズナラと、樹冠の中層を占めるブナの二段に林層が分かれている。上層のブナ、ミズナラの樹高は、18m～24m、ha当たり本数は0.1千本となっている。樹冠の中層を占めるブナの樹高は6m～8m、ha当たり本数は12.5千本となっている。

調査地の土壤型は、BD(d)である。

4. 調査結果の分析

以上の調査結果により、次のことが明らかになった。

- (1) 天1箇所、筋刈地拵箇所、全刈地拵箇所とを比較してみると、広葉樹の発生は、天1箇所、筋刈地拵箇所に多く、全刈地拵箇所が少ないことが一つの特徴になっている。しかし、有用広葉樹の発生本数でみると、将来天然林に成林するには十分な本数と判断される。また、このように天然更新が予想される箇所では、刈出の必要がないと考えられる。
- (2) ブナの発生状況は、表2「ブナ発生状況」のとおりである。全刈地拵箇所は、他の箇所に比較し少ないことが特徴になっている。
- (3) 有用広葉樹の配置については、それぞれほぼ均一に分布しており、施業方法による相違はみられなかった。
- (4) 下層植生は、イワウチワ、ショウジョウバカマ、シャクナゲ、ユズリハ、コアジサイ、アサギリ、クマイザサ等が主体となっているが、中でもイワウチワはブナ林と強く結びついていることが確認できた。また、クマイザサについては、施業上特に問題となる量でなかった。

5. 今後の施業について

今後、川上国有林等のブナを主とする買入地の天然林については、天然林施業または育成天然林施業を重点的に進めることが必要である。また、既往の造林地については、ブナ、ミズナラ等の有用広葉樹の生育が旺盛なことから、これらを育成し、混交林へ誘導していくことが適切であると考えられる。

過去の施業地内の広葉樹等の生育状況から判断し、天然更新における更新の経過観察について、現行では更新完了するまでの間、毎年実施することとなっているが、これを森林計画樹立時または主伐後5年目の行う等の簡素化を図る必要がある。

今回の植生調査から、同じような植生の箇所については、ブナ等の天然更新を第一義に考え、択伐、漸伐等による非皆伐施業の採用が重要であると考えられる。当署管内では門入国有林がこれに

当てはまり、汎用があるものと考えられる。

表 1 林分調査結果

種別	主要樹種	樹高 m	ha当たり 本数 本	ha当たり有用 広葉樹数 本
天 1	ブナ・ミズナラ ミズメ・イタヤカエデ	3～4	14,000	4,000
全 刈	ブナ・ミズナラ ミズキ・エンジュ	3～4	3,900	2,400
筋 刈	ブナ・ミズナラ イタヤカエデ・コブシ	3～4	15,500	4,800
天然林	ブナ・ミズナラ 上層	18～24		100
	ブナ・ミズナラ 下層	6～8	12,600	12,500

表 2 ブナ発生状況

種別	ha当たりブナ本数
天 1	2,250本
筋 刈	3,000本
全 刈	100本
天然林	12,500本